



**Hewlett Packard**  
Enterprise

# HPE Synergy イメージストリーマー 3.0 リリースノート

## 摘要

このリリースノートでは、HPE Synergy イメージストリーマー 3.0 リリースのベストプラクティス、既知の問題、および制限事項について説明します。このドキュメントは、イメージストリーマーの管理インターフェイスを使用するユーザーを対象としています。

部品番号: 5200-1805  
発行: 2017 年 3 月  
版数: 1

## ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商用コンピューター・ソフトウェア、コンピューター・ソフトウェア資料、および商用製品の技術情報は、ベンダー標準の商用ライセンスのもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外にある情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

# 目次

はじめに.....	5
ベストプラクティス.....	6
既知の問題と制限.....	7
既知の問題.....	7
iSCSI イニシエーターがターゲットの検出に失敗したために OS の展開が失敗する.....	7
プランスクリプト、OS ビルドプラン、または展開プランの削除操作時に使用中エラーが発生する.....	7
アーティファクトバンドルの作成が予期しないエラーで失敗する.....	8
プランスクリプトを追加した後、追加ボタンをクリックしてもステップの追加ダイアログが閉じない.....	8
OS ビルドプランに 10 を超えるプランスクリプトが含まれる場合、プランスクリプトが正しく実行されない.....	8
いくつかのカスタム属性が OS ビルドプランに表示されない.....	9
文字&を含むプランスクリプトをコピーすると、展開が失敗したり、誤った展開になったりする場合がある.....	9
イメージストリーマーのユーザーインターフェイスを使用したゴールデンイメージの作成および追加が失敗する.....	9
Google Chrome で、アーティファクトバンドルの作成時に展開プランを選択するためのドロップダウンメニューが動作しない場合がある.....	10
タイプが FQDN のカスタム属性を編集しているときに正しくない検証メッセージが表示される.....	10
タイプがホスト名のカスタム属性を編集しているときに正しくない検証メッセージが表示される.....	10
タイプが IPv4 アドレスのカスタム属性を編集しているときに正しくない検証メッセージが表示される.....	11
OS ビルドプランからのプランスクリプトの削除が失敗する場合がある.....	11
AMVM を使用した OS ボリュームのマウントが失敗する.....	11
展開プランのプラン属性画面で OS ビルドプランのハイパーリンクが機能しない.....	12
制限事項.....	12
ドキュメントに関する注意事項.....	14
補足情報.....	14
HPE Synergy リリースセット.....	17
HPE Synergy のドキュメントおよびトラブルシューティングの資料.....	18
HPE Synergy のドキュメント.....	18
HPE Synergy 構成および互換性ガイド.....	18
HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド.....	18
HPE OneView Global Dashboard.....	18
HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド.....	18

HPE Synergy イメージストリーマー GitHub.....	18
HPE Synergy Software Overview Guide.....	19
HPE Synergy ファームウェアとドライバー更新のためのベストプラクティス.....	19
HPE OneView (HPE Synergy 用) サポートマトリックス.....	19
HPE Synergy イメージストリーマーサポートマトリックス.....	19
HPE Synergy 用語集.....	19
HPE Synergy のトラブルシューティング資料.....	19
HPE OneView でのトラブルシューティング.....	19
HPE Synergy Troubleshooting Guide.....	20
HPE Error Message Guide for HPE Synergy.....	20
HPE OneView および HPE OneView REST API スクリプティングヘルプ.....	20
HPE Synergy QuickSpecs.....	20

## Web サイト.....21

## サポートと他のリソース.....22

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	22
アップデートへのアクセス.....	22
カスタマーセルフリペア (CSR) .....	23
リモートサポート (HPE 通報サービス) .....	23
保証情報.....	23
規定に関する情報.....	24
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	24

# はじめに

HPE Synergy イメージストリーマーリリースノートは、HPE Synergy イメージストリーマーのリリース情報を提供するものであり、イメージストリーマーの管理インターフェイスを使用するユーザーを対象にしています。イメージストリーマー 3.00.05 リリースに関する次の情報が含まれます。

- イメージストリーマーアプライアンスを使用するためのベストプラクティス
- 既知の問題と制限
- 補足情報

## リリース情報

イメージストリーマーを取り付けるには、HPE Synergy ファームウェア構成がイメージストリーマーのリリースセットに対応している必要があります。HPE Synergy リリースセットについて詳しくは、<http://www.hpe.com/downloads/Synergy> を参照してください。

イメージストリーマーの最初のリリースは 3.00.05 であり、このリリースでサポートされる HPE OneView の最小バージョンは 3.00.07 です。

# ベストプラクティス

この項では、イメージストリーマーアプライアンスの使用に大きな影響を及ぼすいくつかのベストプラクティスについて重点的に説明します。この項の情報は *HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド* の情報と矛盾するものではありません。イメージストリーマーアプライアンスの使用に役立ついくつかのベストプラクティスについて重点的に説明することを目的とします。

## アプライアンス

- アプライアンスにアクセスするには、必ず HPE OneView を介してシングルサインオンを使用してください。
- アプライアンスは、HPE OneView と同じサブネットを使用する必要があります。
- アプライアンスのバックアップを定期的に行うことをお勧めします。障害が発生した場合、定期バックアップがあれば確実に復元できます。
- セカンダリ論理エンクロージャーを削除した後は、セカンダリ論理エンクロージャーを再作成する前にイメージストリーマーアプライアンスを手動で再挿入することをお勧めします。この操作を行わない場合、論理エンクロージャーの作成が失敗し、HPE OneView の OS 展開サーバーのアクティビティページにアラートが表示されます。

## アーティファクト

- Hewlett Packard Enterprise が提供するアーティファクトは読み取り専用のため、アップデートできません。アップデートする場合は、アーティファクトのコピーを作成する必要があります。
- 使用中の OS ボリュームからゴールデンイメージをキャプチャーしないでください。破損したゴールデンイメージが作成される場合があります。

# 既知の問題と制限

## 既知の問題

### iSCSI イニシエーターがターゲットの検出に失敗したために OS の展開が失敗する

#### 症状

HPE OneView でサーバープロファイルの作成を試みているときに展開が失敗する。

#### 原因

この問題が発生するのは非常にまれです。この問題は、iSCSI イニシエーターがターゲットの検出に失敗し、111 エラーコードが返された場合に発生します。

iSCSI イニシエーターの問題により OS の展開が失敗した場合、このエラーメッセージが展開ログに記録されます。

#### アクション

#### 手順

- ・ 認定されたサポート担当者に連絡して iSCSI サービスを再起動してください。

### プランスクリプト、OS ビルドプラン、または展開プランの削除操作時に使用中エラーが発生する

#### 症状

- ・ プランスクリプトの削除または編集を試みているときに、サーバープロファイルによってプランスクリプトが使用されていることが（使用されていない場合でも）ユーザーインターフェイスに示される。
- ・ OS ビルドプランの削除または編集を試みているときに、サーバープロファイルによって OS ビルドプランが使用されていることが（使用されていない場合でも）ユーザーインターフェイスに示される。
- ・ 展開プランの削除または編集を試みているときに、サーバープロファイルによって展開プランが使用されていることが（使用されていない場合でも）ユーザーインターフェイスに示される。

#### 原因

各症状に対応する原因は次のとおりです。

- ・ イメージストリーマーアプライアンスに 50 を超えるプランスクリプトが含まれています。
- ・ イメージストリーマーアプライアンスに 50 を超える OS ビルドプランが含まれています。
- ・ イメージストリーマーアプライアンスに 50 を超える展開プランが含まれています。

#### アクション

#### 手順

1. アーティファクトのタイプごとにアーティファクトの数を 50 に制限してください。イメージストリーマーアプライアンス内のプランスクリプト、OS ビルドプラン、または展開プランの数を常にそれぞれ 50 未満にすることでこの問題を回避できます。

イメージストリーマーアプライアンス内で 50 を超えるプランスクリプト、OS ビルドプラン、または展開プランを保持する必要がある場合は、アーティファクトバンドルを使用してそれらを保持してく

ださい。アーティファクトを使用する必要があるときには、アーティファクトバンドルから抽出できません。

## アーティファクトバンドルの作成が予期しないエラーで失敗する

### 症状

アーティファクトバンドルを作成するときに、次のエラーメッセージが表示され、操作が失敗する。

An unexpected error has occurred

### 原因

アーティファクトバンドル内の 1 つ以上のアーティファクトに、255 文字を超える長さの説明が含まれません。

### アクション

#### 手順

1. 各アーティファクトの説明を編集し、255 文字以内であることを確認します。
2. 変更したアーティファクトを使用してアーティファクトバンドルの作成を再試行します。

## プランスクリプトを追加した後、追加ボタンをクリックしてもステップの追加ダイアログが閉じない

### 症状

ステップの追加ダイアログを使用してビルドステップを OS ビルドプランに追加し、追加ボタンをクリックしたときに、ダイアログが閉じない。

### 原因

通常、イメージストリーマーアプライアンスに 50 を超えるプランスクリプトが存在する場合にこの問題が発生します。

### アクション

#### 手順

1. プランスクリプトの数を 50 未満に制限してください。いくつかのステップを組み合わせるとプランスクリプトの数を減らすことができます。

イメージストリーマーアプライアンス内で 50 を超えるプランスクリプトを保持する必要がある場合は、アーティファクトバンドルを使用してそれらを保持してください。アーティファクトを使用する必要があるときには、アーティファクトバンドルから抽出できます。

## OS ビルドプランに 10 を超えるプランスクリプトが含まれる場合、プランスクリプトが正しく実行されない

### 症状

OS ビルドプランに 10 を超えるプランスクリプトが含まれており、次の症状が発生する。

- ステップ 10 のプランスクリプトが実行されない。
- 間違った順番でプランスクリプトが実行される。

### 原因

OS ビルドプランに 10 を超えるプランスクリプトが含まれます



## アクション

### 手順

1. OS ビルドプランあたりのプランスクリプトの数を 10 に制限してください。いくつかのステップを組み合わせて OS ビルドプランのプランスクリプトの数を減らすことができます。

## いくつかのカスタム属性が OS ビルドプランに表示されない

### 症状

いくつかのカスタム属性が OS ビルドプランに表示されない。

### 原因

複数のプランスクリプト内に同じ名前のいくつかのカスタム属性がある場合、一部のカスタム属性は対応する OS ビルドプランに表示されません。代わりに、OS ビルドプランに 1 つのカスタム属性のみが表示されます。OS ビルドプランでこのカスタム属性に対して指定された値は、カスタム属性値と見なされません。

## アクション

### 手順

1. OS ビルドプランの別のプランスクリプトで同じ名前のカスタム属性が使用されていないかどうかを確認してください。
2. 同じ名前の複数のカスタム属性が、異なるプランスクリプト内にある場合、一意の名前となるように名前を変更してください。

## 文字&を含むプランスクリプトをコピーすると、展開が失敗したり、誤った展開になったりする場合がある

### 症状

文字&を含むプランスクリプトをコピーすると、展開が失敗したり、誤った展開になったりする場合がある。

### 原因

プランスクリプト内に存在する&文字はコピー操作時に&amp;で置き換えられます。

## アクション

### 手順

1. プランスクリプトのコピー操作を実行した後、プランスクリプトを手動で確認し、&amp;を&で置き換えてください。

## イメージストリーマーのユーザーインターフェイスを使用したゴールデンイメージの作成および追加が失敗する

### 症状

イメージストリーマーのユーザーインターフェイスを使用したゴールデンイメージの作成および追加が失敗する。

### 原因

ゴールデンイメージの名前に特殊文字が含まれています。

## アクション

### 手順

1. ゴールデンイメージの作成およびゴールデンイメージの追加ダイアログの名前フィールドでは英数字を使用してください。

## Google Chrome で、アーティファクトバンドルの作成時に展開プランを選択するためのドロップダウンメニューが動作しない場合がある

### 症状

Google Chrome で、アーティファクトバンドルの作成時に展開プランを選択するためのドロップダウンメニューの配置が正しく表示されない場合がある。

## アクション

### 手順

1. 別のブラウザを使用します。

## タイプが FQDN のカスタム属性を編集しているときに正しくない検証メッセージが表示される

### 症状

イメージストリーマーユーザーインターフェイスでタイプが FQDN のカスタム属性のデフォルト値フィールドに無効な値を指定した場合、次の検証メッセージが表示される。

```
Enter valid hostname or IP address
```

正しい検証メッセージ：

```
Enter valid domain name
```

## アクション

### 手順

1. タイプが FQDN のカスタム属性のデフォルト値フィールドに、必ず有効なドメイン名を入力してください。

## タイプがホスト名のカスタム属性を編集しているときに正しくない検証メッセージが表示される

### 症状

イメージストリーマーユーザーインターフェイスでタイプがホスト名のカスタム属性のデフォルト値フィールドに無効な値を指定した場合、次の検証メッセージが表示される。

```
Enter valid hostname or IP address
```

正しい検証メッセージ：

```
Enter valid hostname
```

## アクション

### 手順

1. カスタム属性のデフォルト値フィールドで IP アドレスを指定しないでください。

## タイプが IPv4 アドレスのカスタム属性を編集しているときに正しくない検証メッセージが表示される

### 症状

イメージストリーマーユーザーインターフェイスでタイプが IPv4 アドレスのカスタム属性のデフォルト値フィールドに無効な値を指定した場合、次の検証メッセージが表示される。

```
Enter valid hostname or IP address
```

正しい検証メッセージ：

```
Enter valid IP address
```

## アクション

### 手順

1. タイプが IPv4 アドレスのカスタム属性のデフォルト値フィールドでホスト名を指定しないでください。

## OS ビルドプランからのプランスクリプトの削除が失敗する可能性がある

### 症状

プランスクリプトを削除するように OS ビルドプランを編集した場合、削除操作が失敗することがある。

## アクション

### 手順

1. OS ビルドプラン画面で OS ビルドプランの作成オプションを使用して新しい OS ビルドプランを作成します。
2. 必要なプランスクリプトを新しい OS ビルドプランに追加します。

## AMVM を使用した OS ボリュームのマウントが失敗する

### 症状

AMVM を使用して OS ボリュームをマウントする場合、OS ボリュームの構造に応じて、例である `./mountscript.sh` を変更する必要がある。この変更を行わない場合、`./mountscript.sh` スクリプトの実行が失敗し、次のエラーメッセージが表示される。

```
mount: you must specify the filesystem type
```

```
Error: mount failed
```

## アクション

### 手順

1. /etc/imagestreamer/amvm/に移動し、mountscript.sh スクリプトを編集します。
2. 変数 mountpart を変更し、OS ボリュームのパーティション番号を指定します。
3. アップデートした mountscript.sh スクリプトを実行して、OS ボリュームのマウントを再実行します。

## 展開プランのプラン属性画面で OS ビルドプランのハイパーリンクが機能しない

### 症状

イメージストリーマーのユーザーインターフェイスで、展開プランのプラン属性画面に、展開プランで使用できる OS ビルドプランへのハイパーリンクが含まれる。このリンクが機能せず、次のメッセージが表示される場合がある。

```
Unable to locate item you requested.
```

この問題が発生するのは、リンクを使用してプラン属性画面と OS ビルドプラン画面を連続的に数回切り替えた場合のみである。

## アクション

### 手順

1. OS ビルドプランへのハイパーリンクが機能しない場合は、画面の上部にある検索フィルターをクリアしてください。画面が OS ビルドプラン画面に自動的にリダイレクトされます。

## 制限事項

イメージストリーマーアプライアンスの使用に関する制限事項を次に示します。

### 既存の論理エンクロージャーへのイメージストリーマーアプライアンスの追加

論理エンクロージャーにイメージストリーマーアプライアンスを追加する場合、論理エンクロージャーの作成時にイメージストリーマーアプライアンスを含める必要があります。

### リソースへのラベルの追加

このリリースでは、イメージストリーマーアプライアンス内のリソースにラベルを追加することはサポートされません。

### アーティファクトバンドルの抽出

Internet Explorer v11 では、アーティファクトバンドルの抽出はサポートされません。

### アーティファクトの説明の長さは 255 文字に制限されます。

プランスクリプト、OS ビルドプラン、ゴールデンイメージ、または展開プランの説明は 255 文字以内でなければなりません。

### 展開アプライアンスの変更によって現在のプライマリアプライアンス内の OS ボリュームが恒久的に失われる

展開アプライアンスの変更操作を開始すると、現在のプライマリアプライアンス内の OS ボリュームが恒久的に失われます。このため、現在のプライマリアプライアンスの機能が停止したか使用が停止され、それを回復するオプションがない場合にのみ、展開アプライアンスの変更操作を開始する必要があります。

### カスタム属性値の最大許容文字数

カスタム属性値の最大許容文字数は 100 です。

## OS ビルドプランに 10 を超えるプランスクリプトを含めることはできない

1 つの OS ビルドプランに 10 を超えるプランスクリプトを含めることはできません。1 つの OS ビルドプランに 10 を超えるプランスクリプトが含まれる場合、次のようになります。

- ステップ 10 のプランスクリプトが実行されない。
- 間違った順番でプランスクリプトが実行される。

## リモートエンクロージャー内のイメージストリーマーアプライアンスの電源状態

リモートエンクロージャーにイメージストリーマーアプライアンスを配置する複数エンクロージャーのセットアップには、次の制限があります。

- イメージストリーマーアプライアンスの電源状態が HPE OneView に正しく反映されない場合があります。
- HPE OneView を使用してリモートのイメージストリーマーアプライアンスの電源をオンにする試みが失敗する場合があります。

## プランスクリプト内の操作でデフォルト以外のディレクトリを使用した場合、OS の展開が失敗することがある

展開ごとに一意のデフォルトディレクトリ/tmp/user\_scratch/<directory\_name>が作成され、ホームディレクトリとして割り当てられます。プランスクリプトのすべてのアクションをこのディレクトリ内に制限してください。アプライアンス上の他のディレクトリを使用した場合、今後の OS 展開が失敗することがあります。

# ドキュメントに関する注意事項

この章では、*HPE Synergy* イメージストリーマーオンラインヘルプの英語版に記載されている、ローカライズ版には含まれていない内容についての情報を含む、ドキュメントの補足情報を提供します。

## 補足情報

### API リファレンス

提供される API リファレンスドキュメントは、ローカルドライブからのバックアップバンドルファイルからリストアAPIにおける次の修正を反映していません。

#### API リファレンスドキュメントに記載されている API 要求

```
POST https://{appl}/rest/artifact-bundles/backups/archive
```

#### 改訂された API 要求

```
POST https://{appl}/rest/artifact-bundles/backups/archive?
deploymentGrpUri='/rest/deployment-groups/{id}'
```

#### API リファレンスドキュメントに記載されている cURL コマンド

```
curl -k -X POST \
-H "Accept: application/json" \
-H "auth:{authentication token}" \
-F file="{at character}{fully qualified path to the backup bundle file}" \
https://{appl}/rest/artifact-bundles/importLocalArtifactBackup
```

#### 改訂された cURL コマンド

```
curl -k -X POST \
-H "Accept: application/json" \
-H "X-API-Version:300" \
-H "Content-Type:multipart/form-data" \
-H "auth:{authentication token}" \
-F file="{at character}{fully qualified path to the backup bundle file}" \
https://{appl}/rest/artifact-bundles/backups/archive?deploymentGrpUri='/rest/
deployment-groups/{id}'
```

### HPE Synergy イメージストリーマー 3.0 オンラインヘルプ

*HPE Synergy* イメージストリーマー 3.0 オンラインヘルプの英語版には、ローカライズ版に存在しないアップデート情報が含まれます。英語版とローカライズ版には次の違いがあります。



#### 第 7 章 アーティファクト : OS ビルドプランで参照されるプランスクリプトの編集

ローカライズ版オンラインヘルプに記載されている内容	英語版オンラインヘルプに記載されている改訂された内容
OS ビルドプランで参照されるプランスクリプトの編集	OS ビルドプランで参照され、サーバープロファイルで使用されていないプランスクリプトの編集



#### OS ビルドプラン画面の詳細 : カスタム属性

ローカライズ版オンラインヘルプに記載されている内容	英語版オンラインヘルプに記載されている改訂された内容
ローカライズ版オンラインヘルプには、カスタム属性についての詳細は記載されていません。	<p>カスタム属性の横に表示される展開アイコン (▶) をクリックすると、デフォルト値に加え、カスタム属性についての詳細が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>説明 カスタム属性の説明が表示されます。</li> <li>正規表現 カスタム属性の一部またはすべての制約を定義する正規表現が表示されます。</li> <li>使用状況 このカスタム属性を使用するプランスクリプトが表示されます。</li> </ul>

#### OS ビルドプランの作成 : OS ビルドプランの作成

ローカライズ版オンラインヘルプに記載されている内容	英語版オンラインヘルプに記載されている改訂された内容
 をクリックして、一覧表示されているカスタム属性のタイプを変更し、デフォルト値に新しい値 (元の値以外) を割り当てます。	 をクリックして、一覧表示されているカスタム属性のタイプを変更し、デフォルト値に新しい値 (元の値以外) を割り当てます。

#### OS ビルドプランの編集 : OS ビルドプランの編集

ローカライズ版オンラインヘルプに記載されている内容	英語版オンラインヘルプに記載されている改訂された内容
 をクリックして、一覧表示されているカスタム属性のタイプを変更し、デフォルト値に新しい値 (元の値以外) を割り当てます。	 をクリックして、一覧表示されているカスタム属性のタイプを変更し、デフォルト値に新しい値 (元の値以外) を割り当てます。

#### 第 8 章 OS ボリューム : OS ボリュームの削除

ローカライズ版オンラインヘルプに記載されている内容	英語版オンラインヘルプに記載されている改訂された内容
OS ボリュームを削除するには、ソフトウェア管理者としてログインする必要があります。	OS ボリュームを削除するには、インフラストラクチャ管理者またはサーバー管理者としてログインする必要があります。

#### 第 9 章 アーティファクトバンドル : アーティファクトバンドルの追加

ローカライズ版オンラインヘルプに記載されている内容	英語版オンラインヘルプに記載されている改訂された内容
アーティファクトバンドルの形式についての注意事項はローカライズ版オンラインヘルプには記載されていません。	<b>注記:</b> アーティファクトバンドルは.zip形式である必要があります。

#### アーティファクトバンドルの削除

ローカライズ版オンラインヘルプに記載されている内容	英語版オンラインヘルプに記載されている改訂された内容
アーティファクトバンドルの削除手順は、ローカライズ版オンラインヘルプには記載されていません。	アーティファクトバンドルの削除手順は、英語版オンラインヘルプのみに記載されています。

#### 第 11 章 展開アプライアンス：展開アプライアンスの画面の詳細

ローカライズ版オンラインヘルプに記載されている内容	英語版オンラインヘルプに記載されている改訂された内容
ボリュームのスペースとしての OS ボリュームとゴールデンボリュームの使用容量。アーティファクトスペースとしてのアーティファクトとゴールデンイメージの使用容量。	ボリュームのスペースとしての OS ボリュームと展開されたゴールデンイメージの使用容量。アーティファクトスペースとしてのアーティファクトとゴールデンイメージの使用容量。

#### イメージストリーマーアプライアンスのシャットダウン：アプライアンスのシャットダウン

ローカライズ版オンラインヘルプに記載されている内容	英語版オンラインヘルプに記載されている改訂された内容
アプライアンスをシャットダウンするには、ソフトウェア管理者としてログインする必要があります。	アプライアンスをシャットダウンするには、インフラストラクチャ管理者としてログインする必要があります。
イメージストリーマーアプライアンスが再起動されて関連する OS ボリュームが使用可能になるまで、OS ボリュームにはアクセスできません。	アプライアンスをシャットダウンしても、OS ボリュームにはアクセスできません。

#### 第 12 章 メンテナンス：イメージストリーマーのイメージの再構築

ローカライズ版オンラインヘルプに記載されている内容	英語版オンラインヘルプに記載されている改訂された内容
USB フラッシュドライブを使用してイメージストリーマーのイメージを再構築する方法について説明するメンテナンスに関する章は、ローカライズ版オンラインヘルプにはありません。	USB フラッシュドライブを使用したイメージストリーマーのイメージ再構築について説明する、メンテナンスに関する新しい章が含まれます。



# HPE Synergy リリースセット

HPE はリリースセットを介して Synergy ファームウェアとドライバーをリリースします。この方法により、HPE Synergy システムに適用されるバージョンとホットフィックスが明確になります。

このリリースセットは Synergy ダウンロードサイト (<http://www.hpe.com/downloads/Synergy>) で入手できます。

各リリースセットに日付が付けられています。この日付は、リリースセットがダウンロードサイトに投稿された時刻です。各リリースセットには、HPE Synergy リリースセットとして認定されリリースされた HPE Synergy ファームウェアとドライバーが含まれます。リリースセットには、以下が含まれます。

- HPE Synergy コンポーザーのファームウェアバンドル (HPE OneView を含む)
- HPE Synergy のカスタム SPP バンドル
- HPE Synergy 用に設計された完全な SPP のサブセット
- 解決策として HPE Synergy に適用されるすべてのホットフィックスを含むバンドル
- HPE Synergy イメージストリーマーのファームウェアバンドル
- SPP で利用できない追加オプション用の適切なファームウェアバージョンへのリンク

# HPE Synergy のドキュメントおよびトラブルシューティングの資料

## HPE Synergy のドキュメント

Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) はタスクベースのレポジトリです。インストール手順、ユーザーガイド、メンテナンスとサービスガイド、ベストプラクティス、およびその他のリソースへのリンクが含まれています。この Web サイトを使用して、次のような最新のドキュメントを入手してください。

- HPE Synergy テクノロジーについての学習
- HPE Synergy のインストールおよびケーブル接続
- HPE Synergy コンポーネントの更新
- HPE Synergy の使用および管理
- HPE Synergy のトラブルシューティング

## HPE Synergy 構成および互換性ガイド

*HPE Synergy 構成および互換性ガイド*は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。HPE Synergy 管理とファブリックアーキテクチャーの概要、詳細なハードウェアコンポーネントの識別および構成、およびケーブルの接続例が示されています。

## HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド

*HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド*は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。リソース機能、プランニングタスク、クイックスタートタスクの構成、グラフィカルユーザーインターフェイスのナビゲーションツール、および HPE OneView のサポートと参照情報が示されています。

## HPE OneView Global Dashboard

HPE OneView Global Dashboard は、HPE OneView によって複数のプラットフォームとデータセンターサイト間で管理される、ヘルス、アラート処理、およびキーリソースの統合ビューを提供します。*HPE OneView Global Dashboard ユーザーガイド*は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。HPE OneView Global Dashboard のインストール、構成、ナビゲーション、およびトラブルシューティングについて説明します。

## HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド

*HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド*は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。このユーザーガイドでは、イメージストリーマーを使用した OS 展開プロセス、イメージストリーマーの機能、およびイメージストリーマーアーティファクトの目的とライフサイクルについて説明します。また、認証、権限、およびイメージストリーマーのトラブルシューティングに関する情報も含まれます。

## HPE Synergy イメージストリーマー GitHub

HPE Synergy イメージストリーマー GitHub レポジトリ ([github.com/HewlettPackard](https://github.com/HewlettPackard)) には、サンプルアーティファクトと、サンプルアーティファクトの使用法に関するドキュメントが含まれます。また、イメージストリーマーを使用して実行できる展開手順について説明するテクニカルホワイトペーパーも含まれます。

## HPE Synergy Software Overview Guide

*HPE Synergy Software Overview Guide* は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。HPE Synergy をサポートするさまざまなソフトウェアおよび構成ユーティリティの概要と詳細な参考資料について説明します。このガイドは、タスクベースであり、かつ以下について利用可能な、サポートされるすべてのソフトウェアおよび構成ユーティリティに関するドキュメントとリソースについて説明しています。

- HPE Synergy のセットアップと構成
- OS の展開
- ファームウェアの更新
- トラブルシューティング
- リモートサポート (HPE 通報サービス)

## HPE Synergy ファームウェアとドライバー更新のためのベストプラクティス

*HPE Synergy ファームウェアとドライバー更新のためのベストプラクティス* は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。HPE OneView が提供する HPE Synergy コンポーザーを介してファームウェアおよびドライバーを更新するための推奨のベストプラクティスに関する情報が記載されています。

## HPE OneView (HPE Synergy 用) サポートマトリックス

*HPE OneView (HPE Synergy 用) サポートマトリックス* は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。HPE OneView のソフトウェアおよびファームウェアの最新の要件、サポートされるハードウェア、および構成の上限を維持します。

## HPE Synergy イメージストリーマーサポートマトリックス

*HPE Synergy イメージストリーマーサポートマトリックス* は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。HPE Synergy イメージストリーマーのソフトウェアおよびファームウェアの最新の要件、サポートされるハードウェア、および構成の上限を維持します。

## HPE Synergy 用語集

Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) 内の *HPE Synergy 用語集* では、HPE Synergy に関連する一般的な用語を定義します。

## HPE Synergy のトラブルシューティング資料

HPE Synergy トラブルシューティング資料は、HPE OneView 内および Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。

## HPE OneView でのトラブルシューティング

HPE OneView グラフィカルユーザーインターフェイスには、HPE OneView 内のトラブルシューティングのための、アラート通知およびオプションが含まれています。UI は、リソースのステータスとメッセージの潜在的な問題の解決を示す色の付いたアイコンを含む、HPE Synergy コンポーネントの複数のビューを示します。

検出されたすべての HPE Synergy ハードウェアのステータスをすばやく表示するには、エンクロージャービューおよびマップビューも使用できます。

## HPE Synergy Troubleshooting Guide

*HPE Synergy Troubleshooting Guide* は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。HPE Synergy ハードウェアおよびソフトウェアコンポーネントの両方に対し、一般的な問題の解決のための情報、障害の分離と識別のための手順、問題の解決、および保守を提供します。

## HPE Error Message Guide for HPE Synergy

*HPE Error Message Guide for HPE Synergy* は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。HPE Synergy ハードウェアおよびソフトウェアコンポーネントの両方で受け取った特定のエラーメッセージに関連する、一般的な問題を解決するための情報を提供します。

## HPE OneView および HPE OneView REST API スクリプティングヘルプ

*HPE OneView ヘルプ*、*HPE OneView REST API スクリプティングヘルプ*、および *HPE OneView API リファレンス* は、HPE OneView ユーザーインターフェイス内で利用できる、アクセスが容易な組み込みのオンラインヘルプです。これらのヘルプファイルには、HPE Synergy 内の一般的な問題、および問題のトラブルシューティング手順と例への「詳細情報」リンクが含まれています。

ヘルプファイルは、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。

## HPE Synergy QuickSpecs

HPE Synergy には、システムの仕様のほか、個々の製品およびコンポーネントの仕様があります。仕様の完全な情報については、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<http://www.hpe.com/info/qs>) から入手できる HPE Synergy および個々の HPE Synergy 製品の QuickSpecs を参照してください。

# Web サイト

## 全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<http://www.hpe.com/info/EIL>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise Worldwide の連絡先

<http://www.hpe.com/assistance>

サブスクリプションサービス/サポートのアラート

<http://www.hpe.com/support/e-updates>

Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

カスタマーセルフリペア

<http://www.hpe.com/support/selfrepair>

## 製品固有の Web サイト

HPE Synergy のドキュメント

<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>

HPE イメージストリーマー Github

<http://www.github.com/HewlettPackard/>

# サポートと他のリソース

## Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/assistance>

- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

### ご用意いただく情報

- テクニカルサポート登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

## アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<http://www.hpe.com/support/downloads>

### Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

- eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- お客様への権利付与を確認および更新して、契約および保証をプロファイルにリンクするには、次に示す Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>

### ❗ 重要:

一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品の権利付与情報が必要になる場合があります。関連する権利付与情報を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

## カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

CSR について詳しくは、最寄りのサービス窓口にお問い合わせるかまたは次に示す CSR の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/support/selfrepair>

## リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

### リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

#### HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

#### HPE プロアクティブ ケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

#### HPE プロアクティブケアサービス : サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts> (英語)

#### HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス : サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts>

## 保証情報

ご使用の製品の保証を確認するには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターで入手できるサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照します。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

### 追加保証情報

#### HPE ProLiant と x86 サーバーおよびオプション

<http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

#### HPE エンタープライズサーバー

<http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

#### HPE ストレージ製品

<http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

#### HPE ネットワーク製品

<http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

## 規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

### 規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/environment>

## ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 ([docsfeedback@hpe.com](mailto:docsfeedback@hpe.com)) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。